



学校だより



2021年2月26日
横浜市立港南台第一小学校

3月号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp

Tel 832-0210

Fax 832-7771

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kohndail/>

「令和2年度…残り1か月」

校長 瀧田 健二

思い起こせば、1年くらい前から新型コロナウイルスの感染拡大の危機感が増大し、3月は臨時休校になりました。4月になると初めての緊急事態宣言が発令され、4月・5月も休校という今まで経験したことがない新年度のスタートとなりました。令和2年度は、新型コロナウイルスと闘い続けた1年間でした。1年間頑張ってきましたが、現状も緊急事態宣言下にあり、様々な活動を制限せざるを得ない状況が続いています。しかし、制限のある中でも感染症対策を十分に行い、できることは精一杯行うよう努めています。今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。先日、4年生が校外学習に出かけました。宿泊体験学習が中止となり、日帰りの校外学習に変更して実施しました。子どもたちは事前学習を十分に行い、しっかりと計画を立てて臨みました。



さて、3月24日（水）に第47回卒業証書授与式が举行されます。6年間の小学校生活の集大成として、卒業証書を受け取り、自分自身の6年を振り返ることでしょう。そこには、感謝・思い出・成長・友だち・未来への夢など、たくさんの思いが詰まっています。歌や呼びかけに関して制限がかかる中ですが、態度と真剣な眼差しで、自分たちの思いをしっかりと伝えてほしいと思います。卒業式練習と卒業式当日には、自分自身の成長と、自分がたくさんの人に支えられていることを実感し、家族をはじめ周りの人たちへ改めて感謝の思いをもってほしいと願っています。今年度の卒業証書授与式も感染症対策で制限がかかる中での実施となります。式への参加は保護者1名という制限がありますが、保護者の皆様と一緒に実施できることが何よりと思っています。

令和2年度も残り一か月となりました。この一年間、保護者の皆様、見守り隊やボランティアの皆様、そして地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。子どもたちの成長と同様に、学校の教育活動もまた、たくさんの人に支えられて成り立っています。来年度も、学校・家庭・地域が3本の矢となり、子どもたちにとって「安全・安心・充実」の楽しい学校生活が送れるように、教職員一同全力で取り組んでいきたいと考えています。子どもたちが毎日「安心して笑顔」で通える学校が大前提です。地域の皆様、保護者の皆様には、一層のご理解とご支援をお願いいたします。

令和2年度 いのちの学習

本校では、自分の体や生命の誕生について学び、自他の体や心を大切に、豊かな人間関係をはぐくむことを目的とした「いのちの学習」を行っています。児童一人ひとりが「いのち」について考え、そのかけがえのない大切さを学びました。

1年生・5組 たいせつなからだ

1年生・5組は、プライベートゾーンを守ろうという内容を学習しました。水着でかくれた部分は、「自分だけの大切な場所」であることを知り、自分の体を守るためのルールを確認しました。

人に体を見せてと言われたら
大声で「やめて！」という。



自分のプライベートゾーン
は、見せない・さわらせない。
他人のプライベートゾーン
は、見ない・さわらないとい
うルールがわかった。

2年生 おなかの中の赤ちゃん

いのちの始まりの小ささに驚きながら、おなかの中で赤ちゃんが育っていく様子を学習しました。不思議だなと思う点がいくつもあった様子ですが、自分も友達も大切にだということがわかりました。



お母さんと長いおへそ
(へその緒)で繋がっ
ていたのがふしぎだ
と思った。

最初は見えにくい
小さかったのに、それ
がだんだん赤ちゃんに
なっていくのが不思議
だった。



3年生 あたたかい言葉かけをしよう

ふわふわ言葉やちくちく言葉によって、相手を喜ばすことも悲しませることもできることを学習しました。友達同士であたたかい言葉かけをする体験では、自分や友達のいいところにたくさん気づくことができました。

ちょっと恥ずかし
かったけど、ふわ
ふわ言葉を伝え
たら、喜んでく
れて嬉しかった。

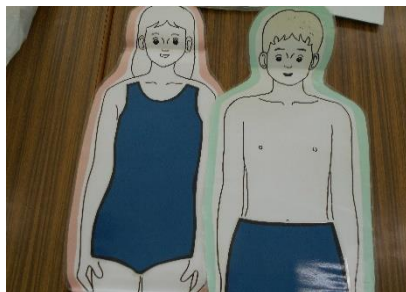


友達が、いいところ
を見つけてく
れて、自分では
わからなかつ
たいいところに
気づいた。

4年生 育ちゆく体とわたし

4年生では、大人の体への変化について学びました。思春期には、体も心も大人に近づいて変化すること、それは誰もが通る道で、成長には個人差があることを学びました。

声が変わったり、大人への変化が始まったときは、授業を思い出したい。



自分の体の変化を、人と比べなくてもいいんだって安心した。

5年生 人の誕生

5年生では、理科の「人の誕生」の学習にあわせて、妊婦体験をしました。妊婦さんの生活の大変さや、お母さんやお父さんからの手紙を聞いて、自分も友達もかけがえのない存在だと気づきました。

自分のことを守ってくれていたんだと思った。お母さんや家族に「本当にありがとう」って伝えたい。



想像よりも、おなかが重いし、足元が見えない！すごく大変だったんだと感じた。

6年生 いのちの授業 ～助産師さんからのメッセージ～

6年生では、今までの「いのちの学習」のまとめとして、助産師の石川先生による出前授業を行いました。今までの成長をふりかえるとともに、自分やまわりの人のいのちを大切にすることについてお話をいただきました。



自分の命は、家族や友達にとってもかけがえのないものだとなった。生んで、育ててくれた両親に感謝したい。

自分が今ここにいることは、奇跡なんだと思った。これからも、いのちを大切にしたい。

～石川先生の言葉で、特に心に残ったこと～

奇跡から始まった、たった一つのいのちを大切にしてください。誰でもだろうと命の重さは同じであり、差別やいじめは許されません。苦しいことや困ったことがあったら必ず誰かに相談をして、SOSを出してください。何があっても生きていくことが大切です。